

10/13
(水)

伊達市の未来を描く 第3次総合計画の策定がスタート

伊達市役所

conference

市民の皆さんの幅広い視点から市のまちづくりの基本的な計画を審議する伊達市総合計画審議会が開かれ、学識経験者や各種団体の代表者、市民など18人の委員が委嘱されました。須田市長は「より良い計画を作るため、率直なご意見をお願いします。」とあいさつし、帝京大学経済学部教授の内貴滋会長に諮問



書を手渡しました。審議会では今後のまちづくりの指針となる伊達市第3次総合計画の策定に必要な審議を行います。

10/16
(土)

原画ならではの繊細さ楽しんで 「いわむらかずお原画展」始まる

伊達市梁川美術館

event

原画展は初日から多くの家族連れでにぎわい、「この本持ってるよ!」「このネズミが好き」とうれしそうに話す子どもの姿が見られました。オープニングセレモニーで須田市長は「いわむらさんの作品から元気をもらってほしい」と述べ、いわむらかずお絵本の丘美術館館長の岩村康一郎さんは「絵本の印刷では表しきれない原画の繊細さを楽しんでほしい。」と話しました。原画展は12月12日④まで開かれています。(関連記事 29㉔)



れない原画の繊細さを楽しんでほしい。」と話しました。原画展は12月12日④まで開かれています。(関連記事 29㉔)

9/25~
10/14

伊達市産イノシシ革、国外へ ハンガリーで猪キーホルダー配布

ブダペスト

event

9月25日～10月14日にハンガリーの首都ブダペストで開かれた「ONE WITH NATURE 2021(国際狩猟自然博覧会)」に環境省が出展し、日本の狩猟文化を紹介するパネル展示を行いました。日本ブースを訪れた人への記念品として、伊達市のイノシシ革で作った「猪キーホルダー」が配られました。伊達市農林業振興



公社の三浦専務は「記念品に選んでもらえて光栄。これからも命に感謝して、製品づくりに取り組みたい。」と話しました。

10/7
(木)

高子駅北に持続可能なまち形成へ アップデートシティ協議会が設立

伊達市役所

conference

アップデートシティ(Up DATE City)とは、パナソニックホームズが代表となり高子駅北に整備する新しいまちです。『想像を超えた暮らし』『健幸と生涯活躍の街』実現のため、市内外の事業者35団体が参画し協議会が発足しました。参画団体がそれぞれの強みを活かし「暮らしの仕組みやサービス」をアップデート(更新)しながら持続可能なまちを目指します。須田市長は「官民連携のモデルとなる魅力あるまちづくりに期待したい。」と話しました。



ら持続可能なまちを目指します。須田市長は「官民連携のモデルとなる魅力あるまちづくりに期待したい。」と話しました。